

2026年2月2日

福岡タワーのピクセルアニメイルミネーションがギネス世界記録™に認定 ～当社はイルミネーション設備（LED）の更新工事および保守・点検に携わり、安定運用に貢献～

電気興業株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：近藤忠登史、以下「当社」）は、当社がイルミネーション設備（LED）の更新工事および保守・運用支援に携わる福岡タワー株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：田中一道、以下「福岡タワー」）において、タワー外観のピクセルアニメイルミネーションがギネス世界記録™の認定を受けたことをお知らせします。

本件は福岡タワーの取り組みに関するご案内であり、当社は設備の更新・維持管理の面から安定運用を支援しています。

ギネス世界記録™認定について

ギネス世界記録™は、世界中の多様な記録を、公正な基準に基づいて審査・認定する記録認定制度です。

福岡タワーは、「展望室を備えた電波塔がピクセルアニメイルミネーションを点灯した最多日数」として、2026年1月22日（木）にギネス世界記録™に認定されました。

本記録は、2014年のイルミネーション全面LED化以降、合計3,935日間にわたり、タワー全体を使ったピクセルアニメイルミネーションを継続してきた実績が評価されたものです。

また同日、福岡タワーにてギネス世界記録™公式認定証授与式が開催され、ギネスワールドレコーズ公式認定員から福岡タワー 代表取締役社長 田中一道氏に公式認定証が授与されました。

※本記録において「ピクセルアニメイルミネーション」とは、個々のピクセルを使い動く映像を作り上げるデジタルアートと定義されています。福岡タワーでは、壁面に設置した2,706基のLEDドットを一つずつ制御し、タワー全体を巨大なスクリーンのように使ってアニメーション演出を行っています。

福岡タワーおよびイルミネーションについて

福岡タワーは、1989年に福岡市制100周年記念事業の一環として開催されたアジア太平洋博覧会（よかトピア）のモニュメントとして誕生した、高さ234メートルのタワーです。電波塔としての機能と、観光・展望タワーとしての機能を併せ持つ、全国でもユニークなタワーとして親しまれています。福岡市内のテレビ・ラジオの電波塔としての役割とともに、年間78万6千人（令和6年度実績）が訪れる観光・展望タワーとして、福岡市有数の観光スポットとなっています。

福岡タワーの外観イルミネーションは、日没後から23:00までの点灯を基本とし（期間・内容により変動）、福岡のランドマークとして街に彩りを与える「アートイルミネーション」として、桜・天の川・金魚・月見・ハロウィン・クリスマスなど、四季や行事をモチーフにした多彩な演出を開催しています。

世界中でタワーのライトアップが行われる中でも、福岡タワーのようにタワー全体を巨大なスクリーンのように見立ててピクセルアニメーションを映し出す手法は類がなく、福岡タワーならではの特徴とされています。

また、これまで時代に沿ったデザイン演出の追加や設備更新を重ね、2025年にはLEDの全面更新工事を実施しました。

当社の関わり

福岡タワー頂上部には放送事業者各社のテレビ・ラジオ用アンテナ（ゲイン塔を含む）が設置されており、当社はこれらアンテナの設置工事の多くを担当してまいりました。また、タワーの鉄骨部に関する塗装工事をはじめとする保守・維持管理にも携わり、施設の安全・安定運用に貢献しています。

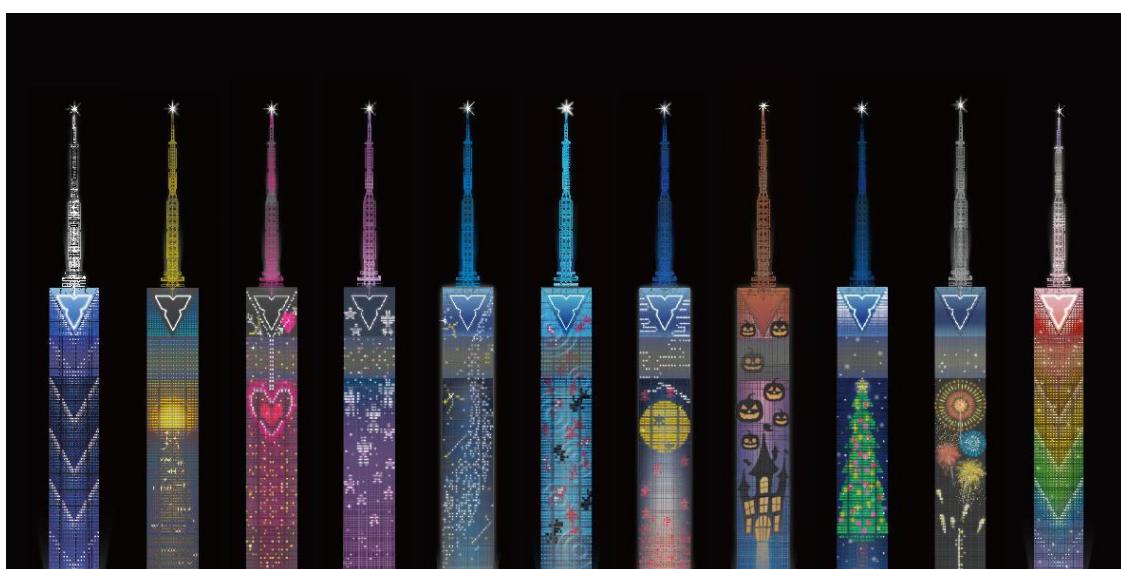
特に今回の認定の背景となったイルミネーション設備についてはまた、2025 年に実施した設備のリニューアル（LED 全面更新）において、壁面の LED ドット（2,706 基）を含むイルミネーション照明器具の更新工事を担当いたしました。

更新後は、設備の保守・点検を通じて、イルミネーションの安定運用に寄与しています。

当社は今後も、計画的な保守・点検・維持管理の支援を通じて、福岡タワーの魅力発信と地域の夜間景観づくりに貢献してまいります。なお、本件は福岡タワーの公式発表に基づくものです。



△ギネス世界記録™公式認定証授与の瞬間。ギネスワールドレコーズ公式認定員（左）、福岡タワー代表取締役社長田中一道氏（右）



△福岡タワーの代表的なイルミネーション一覧

【お問い合わせ先】 電気興業株式会社 経営企画部 経営企画課

Tel 03-3520-8322

Mail kouhou@denkikogyo.co.jp

Website <https://denkikogyo.co.jp/>